

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		町道通行安全確保対策事業					
事業の概要	事業の概要	町道を占有しているコンクリートマンホールが劣化しているため、劣化したコンクリートマンホールを更正し強度復元を図ることにより、道路陥没を防ぐものである。自動車はもちろん、子どもや高齢者、障害のある人も安心して移動できるよう道路の安全確保対策を講じ、住民生活の安定、安全を図るものである。					
	事業期間	平成21年度					
	総事業費	6,028	本年度事業費	6,028	交付金交付額	3,014	
事業評価	事業の必要性	町道を占有しているコンクリートマンホールの劣化により強度が著しく低下しており、道路陥没がいつ起こるか分からない状況となっているため、この事態を回避するため、早期の改修を図るものである。					
	事業の有効性	本事業により住民の生活道路の整備を行うことで、住民生活の安全性を確保することができる。					
	事業の効率性	町内の業者に発注することで、地元企業等における雇用の維持が図られる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果	本事業により、劣化により強度の低下したコンクリートマンホールの強度復元と、新たな劣化の防止が図られることにより、道路陥没を回避することができる。				
		3 リーディング・モデル成果	内面が劣化したコンクリートマンホールをそのままの状態に放置すると、ますます劣化が進むため、劣化した状態に即した更生工法により整備を図るものである。				
		4 広域的波及成果	自動車はもちろん、子どもや高齢者、障害のある人も安心して移動できるよう道路づくりが必要とされる中、安全確保対策を講じることは、住民生活の安定、安全に資するものとなる。				
5 行財政改革に資する成果		老朽化により内面が劣化したコンクリートマンホールを、非開削更正工法により更正することで、強度復元を図り、新たな劣化を防ぎ、耐久性を向上させる。					
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。